

# サポートチームだより

市町村教育委員会のみなさま  
ミーティングにご参加いただき  
ありがとうございました。

## 「第3回部活動地域移行担当者ミーティング」開催 ～新たな取り組み段階に向けて～

### 〈地域展開は子どもたちにとって大きな意義〉

令和7年（2025年）1月23日（木）に十勝総合振興局 AB 会議室で、「令和6年度第3回十勝管内部活動地域移行担当者ミーティング」が開催されました。市町村教育委員会担当者26名が参加し、行政説明及びグループ討議等を行いました。会議では「十勝教育局部活動の地域移行に係るサポートチーム」リーダー（十勝教育局次長）の ただ ひろあき 多田 博昭 より参加者へあいさつし、「部活動地域展開の取組は、管内の子供たちにとって、継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実すると言う意味で、大きな意義を持つものである」とし、「これからも皆様と連携して、この取組を進めてまいりたい」と述べました。



挨拶する多田次長

### 〈「アジャスト」した取組を〉

行政説明では、教育支援課 主査 うどう まさや 有働 雅哉 より、「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議中間とりまとめ」等についての説明、十勝管内の地域クラブ等の設置状況等についての情報提供及び「地域展開のイメージ」等の説明を行いました。「地域展開のイメージ」では11個の取組例について参加者に提示し、「可能なところから進める」ことや「地域との結びつきが重要」と述べ、「各自治体の状況や環境にアジャスト（適応）させた」取り組みを求めました。



説明を聞く参加者

### 〈取組を「イメージ」して〉

今回の会議では「グループ討議」を実施。当局社会教育指導班 主査 みながわ けいた 皆川 敬太 が講師となり行いました。



他のグループの討議の状況を見る参加者

討議の前半では、グループごとにアイスブレイク「4つの窓」の手法を用い自己紹介を実施した後、取組における情報交換を実施。参加者は積極的に発言し、活発な意見交換が行われました。

また後半では『「地域展開のイメージ」を『イメージする』』とし、取組のシミュレーションを実践しました。

（資料は別紙参照）

参加者からは、今回のミーティングについて「地域展開への複数に渡る資料から、多くのイメージを描くことができた」や「他の自治体での考えや課題、取り組みなどの情報を得ることができた」などの感想をいただきました。



討議に取り組む参加者

【発行・お問い合わせ先】  
北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課 主査（地学協働）  
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目  
電話：0155-26-9243  
E-mail: [udou.masaya@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:udou.masaya@pref.hokkaido.lg.jp)